

総合的な学習の時間 学習指導案 (平成 26 年度教員長期研修後期論文参照)

熊野町立熊野第一小学校 指導者 宮脇 麻依子

- 1 日時 平成 26 年 12 月 11 日 (木) ～18 日 (木)
- 2 学年 第 3 学年 1 組 29 名 2 組 29 名 3 組 30 名
- 3 単元名 3 これからの熊野のためにできることを考えよう
- 4 単元について

○ 本学年の児童は、これまでの総合的な学習の時間で、熊野第一小学校区や熊野町の自慢を探し、地域の人々の暮らし、伝統と文化など地域や学校の特色を生かした課題について学習活動を行ってきた。

熊野町は筆の都として、日本一の筆の生産量を誇っており、児童の住む熊野第一小学校区は昔から筆屋が密集する、筆産業の中心地である。しかしながら、3 年生に進級した当初は、筆屋が多くあるのは熊野町だからという意識をもった児童はほとんどおらず、毎年秋分の日に行われる筆まつりについても、県内外から多数の観光客が訪れる筆の都ならではの祭りであるにもかかわらず、出店を楽しむお祭りという感覚の児童がほとんどであった。

1 学期に学習してきた熊野第一小学校区の自慢については、一番興味をもった内容ごとにグループを作り、知ったことや独自にインタビューしたことなどを模造紙にまとめていった。しかし、「まとめ・表現」の過程の指導は、教師主導の画一的なものになっており、児童がよりよく問題を解決する手立てとなっていくような表現方法の工夫や制作物の効果的な発信はできていない。

○ 本単元では、1・2 学期に学習してきた熊野第一小学校区や熊野町の自慢を基に、これからの熊野町のために、自分たちにできることを考え、発信していく。その際、発信方法を教師が指定するのではなく、児童が今まで学習してきた内容や伝えたい相手に対して、適切な発信活動を行わせるようにしていくことが必要と考えた。情報を発信したい相手や効果的に伝える表現方法を、自分たちで選択していけるようにする。自分たちが住んでいる地域でも、知らないことが多くあることが分かってきている児童に、誰にどのような情報を発信していくことが熊野町のためになるか考えさせ、相手意識や目的意識をもって表現していけるようにする。

○ 指導に当たっては、これまで学んできた中で自分が興味のあることについて、誰に、何を、どのように伝えることが最も熊野町のためにできることとして効果的かを考える場を設定する。その際、相手意識や目的意識を明確にもたせる指導の工夫をする。このような視点を児童に与え、自分たちの思いだけでまとめるのではなく、伝えたい相手を意識した、目的に応じたまとめができるように指導していく。表現方法については、3 年生の現段階では多くの方法を学習していない実態もあるので、新聞やチラシ、ポスターなどの広告の戦略を参考にし、児童にあった表現方法の特性を分類し、相手に応じた効果的な発信方法を考えながら学んでいくことができるようにする。日常生活や社会とのかかわりを重視した指導を行い、実社会や実生活で生きて働く資質や能力の育成につなげたい。

5 単元の概要

(1) 単元の目標

熊野町について学んできたことを基に、熊野町のためにできることを考え、相手や目的に応じた効果的な表現をすることができ、町に親しみをもつことができる。

(2) 単元で育てようとする資質や能力及び態度

[学習方法に関すること]

- ・集めた情報を基に、新たな課題の候補を見付けることができる。(課題設定力)
- ・これまでに調べた情報を整理し、自分の考えをもち、よりよく課題を解決することができる。

(課題解決力)

・相手や目的に応じて，分かりやすくまとめ，表現することができる。（表現力）

[自分自身に関すること]

・自らの生活の在り方を見直し，実践する。（自己の生き方）

[他者や社会とのかかわりに関すること]

・他者と協同して課題を解決することができる。（協同）

6 単元の評価規準

評価の観点	学習方法に関すること			自分自身に関すること	他者や社会とのかかわりに関すること
	課題設定力	課題解決力	表現力	自己の生き方	協同
単元の評価規準	①熊野町の様々な事象に対して，積極的に関わろうとしている。 ②収集した情報を基に，熊野町のために出来ることを考えている。	①積極的に熊野町に関する情報を収集しようとしている。 ②集めた情報から必要なものを判断し，比較したり，関連付けたりして考えている。	①相手や目的を明確にし，効果的な表現方法を考えている。 ②相手意識や目的意識をもって発表・発信している。	①活動を通して，熊野町に親しみをもっている。 ②学習を振り返り，自分の成長に気付くことができている。	①自分と異なる意見が出ても最後まで聞き，協同して課題を解決する方法を考えている。 ②地域の方や家族にインタビューしたり，学習したことを伝えたりすることで，進んで地域と関わっていきこうとしている。

7 単元の指導計画と評価計画

(全 70 時間 本時第 3 次 第 2 時間目 第 3 時間目 第 4 時間目 第 5 時間目 第 6 時間目)

単元名 (時数)	探究の 過程	主な学習内容	評価規準及び評価方法	
1 熊一校区の自慢を紹介しよう (26 時間)	情報収集	○ 総合的な学習の時間について知る。(1) ○ 筆の里工房を見学する。(3) ○ 熊野筆を使って絵手紙をかく。(5) ○ 熊一校区のことで知っていることや知りたいことを話し合い、学習テーマを決める。(1) ○ 熊一校区のステキを取材する計画をたてる。(2) ○ 地域安全マップ作り(4) ○ 熊一校区のステキを知っている人にインタビューしたり、見学したりする。(5) 《榊山神社見学・ふでりん・熊野第一小学校校歌について(校長先生)・筆屋さん見学・筆の里工房(電話)》 ○ 取材して分かったことをまとめ、発表する。(4) ○ 学習を振り返り、新たな課題を見付ける。(1)	[課題設定力]① [課題解決力]① [課題解決力]① [課題解決力]② [表現力]① [表現力]① [協同]② [表現力]② [自己の生き方]①	制作物による評価 (作品) 観察による評価 (行動観察) 制作物による評価 (安全マップ) 制作物による評価 (ワークシート) 制作物による評価 (まとめ模造紙)
2 熊野の自慢を紹介しよう (21 時間)	整理・分析 課題の設定	○ 熊野町内で知っていることを話し合う。(2) ○ 熊野の自慢について取材する。 《夜泣き石、涙岩ビデオ視聴・坊田かずま・光教坊見学・地域の方の話を聞く》(15) ○ 熊野町について、取材してきたことを分類・整理し、焦点化し、熊野町のためになる新たな課題を見付ける。(4)	[課題設定力]① [課題解決力]① [課題解決力]② [課題設定力]① [自己の生き方]①	観察による評価 (行動観察) (ワークシート) 制作物による評価 (ウェビング図、 ピラミッドチャート)

3 これからの熊野のためにできることを考えよう（23 時間）	まとめ・表現	○ 熊野町のために、自分が知らせたいことを明確にし、グループを決定し、個人の思い、情報を共有化する。 (1) ○ これからの熊野のためにできることを考える。 [本時案 8－1] (1) ○ 効果的に情報を伝える相手を考える。 [本時案 8－2] (1) ○ 伝える相手のことを知り、伝える時に気をつける所を見つけることができる。 [本時案 8－3] (1) ○ 効果的に伝える方法を知り、どの方法が効果的か考えることができる。 [本時案 8－4] (1) ○ 伝える方法のメリット・デメリットを考え分析し、伝える方法を決めることができる。 [本時案 8－5] (1) ○ 伝えたい相手に、熊野町について伝える計画を立てる。 (1) ○ 選んだ方法でグループごとに話し合いながらまとめ・表現の準備をする。 (11) ○ 伝えたい相手に伝える。 (3) ○ 伝えた相手や内容の情報交流をする。 (2)	[課題解決力]② [課題設定力]② [表現力]① [課題解決力]② [表現力]① [課題解決力]② [表現力]① [課題設定力]① [表現力]② [協同]① [自己の生き方]②	制作物による評価 (メリット・デメリット) (学習シート, ワークシート) 制作物による評価 (学習記録, 発表作品)

8－1 本時について（第3次 2時間目）

(1) 本時の目標

これからの熊野町がどんな町であってほしいか考え、地域の方々の思いを想起し、自分たちが熊野町のためにできることを考えることができる。

(2) 準備物 前時ピラミッドチャート ワークシート [No. 1] 地域の方の写真・吹き出し 画用紙 マジック ふせん テーマ名カード

(3) 本時の展開

学 習 活 動	・ 指導上の留意点◇予想される児童の姿	マーケティングの手法	評価規準（評価方法）
1 今までの学習を振り返る。	・ 前時のピラミッドチャートを基に、 どうしてその課題を設定したか、 グループで話し合ったことを思い 出す。		
2 本時のめあてを知る。			
自分たちが、熊野町のためにできることを考えることができる。			
3 これからの熊野町がどんな町であってほしいか考える。	◇観光客がたくさん来てくれる町。 ◇筆がもっとたくさん売れて、有名		

4 学習を通して関わってきた方々の思いや願いを知る。	になる。 ◇自然がいっぱいの町。 ・1学期の内容等，ゲストティーチャーの写真や吹き出しを使い，願いを視覚的に訴え，熊野町のためにできそうなことを考える手立てとする。		
5 熊野町のためにできることを考え，ふせんに書く。[個人]	・何を伝えていくことが熊野町のためになるのか，自分たちの思いだけでなく，人々の願いも意識させる。 ◇観光客がもっと増えるように伝えられたらいいかな？		
6 熊野町のためにできることについてグループで話し合う。 [協同]	◇住んでいても知らないことはあるから，教えてあげよう。 ・それぞれの考えを出し合い，仲間分けをすることで，共通の考えを明確にさせる。		[課題設定力]② 収集してきた情報を基に，熊野町のために出来ることを考えることができたか。 (行動観察) (ワークシート)
7 グループごとに発表する。			
8 振り返りをし，次時の学習について知る。			

8－2 本時について（第3次 3時間目）

(1) 本時の目標

マーケティングの手法を基に，効果的に情報を伝える相手を考えることができる。

(2) 準備物 TVCM 拡大写真 ワークシート [No. 2] ワークシート記入カード テーマ名カード 表現方法の特性表（相手）

(3) 本時の展開

学 習 活 動	・ 指導上の留意点◇予想される児童の姿	マーケティングの手法	評価規準（評価方法）
1 前時の学習を振り返る。	・ 前時の内容（各グループの目的）を想起させる。		
2 本時の学習活動やめあてを知る。			
だれにじょうほうを伝えたらいいのか、考えることができる。			
3 テレビコマーシャルが流れる時間帯と視ている相手との関係について考える。	・ 児童が視る、アニメ放送時間帯によく視る CM と 21 時以降の CM を比較し、視ている相手に応じた CM になっていることに気付く。		

4 特定の品物でも, 利用する相手によって, 効果や特徴を変えていることを知る。 5 自分たちが, 学校から情報を発信していく相手について考える。(表現方法の特性表に相手を書き込む。)	・一般的な CM について例を挙げ相手に応じて効果や特徴が変化することを理解させる。 - 例：歯磨き粉 ◇筆のことは, 観光客に伝えたいな。 ◇地域の人たちにも知らせたら, もっと熊野がいい町になるよ。 ・地域だけでなく, さらに細分化して, お年寄りか幼児に伝えるかで, 方法が変わっていくことも意識させる。 ・表の中に, 書き加えながら, 考えを一覧化する。	セグメンテーション セグメンテーション	
6 グループが伝えようとしている情報は, 誰に伝えるのが効果的か考え, 理由と共にワークシートに書く。 [個] 7 考えたことを, グループで交流する。 [協同] 8 グループごとで, 情報を誰に伝えようとしているか発表する。	・理由を含めて, 自分の考えとして書いていけるように声をかける。 ・それぞれの考えを出し合い, 情報を伝える相手の候補を決める。 ・同じ相手でも, それぞれの理由を自分の言葉で伝えさせるようにする。 ・同じテーマであっても, 情報を伝える相手が違う場合もあることを知る。	ターゲティング ポジショニング① ポジショニング②	[表現力]① 相手意識を明確にして, 考えることができたか。 (ワークシート) (行動観察)
9 次時の学習に向けて, 情報を伝えようとしている相手についてリサーチすることを知る。	・フリップボードへのまとめ方, リサーチの仕方について確認する。	マーケティングリサーチ	

8-3 本時について（第3次 4時間目）

（1）本時の目標

リサーチ結果から、自分たちが伝えようとしている相手についての情報を確認し、伝える時の注意点を見付けることができる。

（2）準備物 ワークシート [No. 3] フリップボード テーマ名カード リサーチ結果一覧表

（3）本時の展開

学 習 活 動	・指導上の留意点◇予想される児童の姿	マーケティングの手法	評価規準（評価方法）
1 本時までの学習を想起する。	◇4年生に〇〇について、聞いてきたよ。		
2 めあての確認をする。	◇5・6年生は、熊野第一小学校の校歌の秘密をほとんど知らなかったよ。		
つたえる相手のことを知り、つたえる時に気をつける点をみつけることができる。			
3 リサーチの結果を発表し、ワークシートに記入する。	・他クラスのリサーチ結果の情報も伝える。		
4 リサーチの結果からわかることを考える。	◇夜泣き石や涙岩の話を1・2年生はほとんど知らないよ。 ◇お父さん、お母さんは榊山神社の本殿や杉の木のすごさを知らなかったよ。		
5 伝えようとしている相手は適切かどうか考え、相手を決定する。 [協同]	・熊野町のためになることを伝えられる相手か、考えさせる。 ・リサーチの結果、前時で思っていた相手と違う相手に伝える方が効果的であると判断したグループは、理由がはっきりとしていれば、変更も可能とする。	ターゲティング	[課題解決力]② 集めた情報から必要なものを判断し、比較したり、関連付けたりして考えている。 （ワークシート） （行動観察）
6 相手に応じて工夫する点を考え、ワークシートに書く。 [個]	◇自分たちより年下の子に伝えるには、簡単な言葉で絵があるといいね。		
7 グループ内で、相手に応じた注意点が挙げられているか確認する。 [協同]			
8 振り返りをし、次時の学習について知る。	・色々な伝える方法について学習することを伝える。		

8-4 本時について（第3次 5時間目）

(1) 本時の目標

伝えたい相手に、効果的に伝える方法を知り、どの表現方法が自分たちのグループに適しているか、考えることができる。

(2) 準備物 リサーチ結果 表現方法の特性表 ワークシート [No. 4] グループ用ワークシート
テーマ名カード

(3) 本時の展開

学 習 活 動	・指導上の留意点◇予想される児童の姿	マーケティングの手法	評価規準（評価方法）
1 前時の学習を想起する。 2 めあての確認をする。	・リサーチ結果からわかった、伝えるときに注意する点と、伝える相手を再確認する。		
どのような伝え方がいいのか、考えることができる。			
3 自分たちにできる表現方法には、どんなものがあるか考える。 [個]→[協同]	・個人でワークシートに記入し、全体で表現方法を確認する。		
4 広告を作るときに、会社で働く人たちが意識していることを基に、自分たちにできる表現方法を考えていく。	・各表現方法の特徴について、表を基に考えさせる。 ・班ごとに表現方法の特性表の空欄を記入していく。	※1 参照 表現方法の特性表	
5 伝える相手と、表現方法の特徴を考える中で、どの方法で、伝えていくことが効果的かグループで考える。[協同] 6 伝える方法と理由を考え、ワークシートに記入する。 [協同] 7 グループごとに決めた2種類の表現方法を、発表する。	◇校歌の秘密について、給食放送で伝えられないかな。 ◇榊山神社の素晴らしさを、筆の里工房に来た観光客に伝えるために、パンフレットを作って置いたらどうか。 ・効果的と思われる方法を各グループ2種類候補としてあげる。		[表現力]① 相手や目的を明確にし、効果的な表現方法を考えることができたか。 (ワークシート) (行動観察)
8 振り返りをする。	・候補に挙げた方法のいい所と悪い所をあげていき、最も相手に適した表現方法を決めていくことを伝える。		

(1) 本時の目標

(2) 準備物 ワークシート [No. 5] メリット・デメリット発表用紙 前時のワークシート

(3) 本時の展開

学 習 活 動	・指導上の留意点◇予想される児童の姿	マーケティングの手法	評価規準（評価方法）
1 本時のめあてを確認する。	・前時までの内容の確認と、本時の活動の流れを確認する。		
メリット・デメリットを見付け、つたえる方ほうを決めることができる。			
	・メリット・デメリット法について知る。		
2 グループごとで考えていた方法について確認する。	◇ポスターで伝えよう。 ◇新聞はどうか。		
3 ワークシートに自分たちが伝える相手に対して、効果的と思われる表現方法とそのメリット・デメリットを書く。 [個]	・前時の表現方法の一覧表を見ながら、できるだけ短い言葉で書くよう声をかける。 ◇パンフレットは、たくさん作るのが大変かも。 ◇朝会で発表したら、全校児童と先生たちにも知ってもらえるよ。 ◇2年生には、紙芝居で夜鳴き石について伝えるのがいいかもしれないな。		[課題解決力]② 集めた情報から必要なものを判断し、比較したり、関連付けたりして考えている。 (行動観察) (ワークシート)
4 グループで友達と意見を交流し合い、一番良いと思われる表現方法を選ぶ。 [協同]			[表現力]① 相手や目的を明確にし、効果的な表現方法を考えることができたか。
5 グループごとに、決定した表現方法を全体の前で発表する。	◇ポスターで伝える： メリットは絵と短い言葉で内容が伝えやすい。デメリットは、枚数を多くは準備できない。 ・例を挙げて、デメリットをメリットにする視点を与える。 例：手ぶくろ		(行動観察) (ワークシート)
6 デメリットと思っていることでも、工夫をすることでメリットになるものがないか、考える。	◇デメリットがメリットになったら、同じ方法でも効果が上がるね。		

